

高齢者への支援の推進

アナ： 「市長が語る 2018 三島」第6回の今日は、「高齢者への支援の推進」についてお話を伺います。豊岡市長、よろしくお願いします。

市長： よろしく申し上げます。

アナ： 全国的に超高齢社会が大きな課題とされていますが、現在の三島市はどのような状況なのでしょう。

市長： 一般的に65歳以上の高齢化率が21%を超えますと超高齢社会と呼ばれます。三島市では3月31日現在、65歳以上の方が31,232名、高齢化率で申しますと28.2%になり、超高齢社会という状況にありまして、これからもこの高齢化率は上がっていくことが予想されています。

アナ： 高齢化率が高まる中で、「高齢者への支援の推進」が重要になってくるのですね。

市長： そうですね。時代の変遷の中、社会情勢や生活スタイルの変化に呼応して、高齢者の皆様が抱える問題なども、複雑化・多様化してきていると感じています。また、地域によって抱えている問題も異なることから、三島市でも独自のサービスを充実させていく必要があると感じています。

アナ： 具体的な取組みがありましたら、お聞かせいただけますか。

市長： もともと市独自のサービスとして提供させていただいております「三島市高齢者バス等利用助成券」ですが、75歳以上の方にお渡しする助成券については、これまで通りタクシーにも利用でき、さらに、平成30年度からは1回のタクシー乗車で100円分の券を2枚まで使えるように、使用できる範囲も拡大いたしました。

アナ： これまでは1回につき1枚の使用に限られていましたね。

市長： そうですね。市民の方のご要望にできる限りお応えするために範囲を拡大し、また、バス券の配布時期も以前より早めて4月1日から行っています。

アナ： その他の取組みはいかがでしょうか。

市長： 新しい総合事業を平成29年度から開始しておりますが、三島市ではより多くの方に多様なサービスの担い手になっていただくため、「生活支援サポーター養成研修」を行っております。

アナ： 「生活支援サポーター」とはどのようなものなのでしょうか。

市長： 超高齢社会を支える新たな担い手として、介護専門職以外の一般の方でも身体介護ではない家事援助を行うことが出来るようになりました。一定の研修を受けていただき、訪問介護事業所で家事援助を行うホームヘルパーとして働いてくださる方を三島市では「生活支援サポーター」と呼んでいます。

アナ： そのための研修なのですね。どのような方が対象になるのですか。

市長： 退職後の高齢者や子育て中のお母さんなど、家事のスキルを活かしたい方や、生きがいのために働きたいと考えている方に、是非、受講していただきたいと考えておりますが、興味のある方で三島市在住・在勤の方であれば、誰でも受講することができます。

アナ： 多くの方にご参加いただきたいですね。他にお奨めのお話がありましたらお聞かせいただけますか。

市長： まだまだお話ししたいことはたくさんあるのですが、「三島市高齢者バス等利用助成券」については、広報みしま3月15日号に、「生活支援サポーター養成研修」については5月1日号に掲載しておりますのでそちらをご覧ください。

また、これらの事業以外にも、地域で気軽に立ち寄ることができる「居場所」づくりの支援や、介護が必要とならないための介護予防活動の推進、認知症施策の拡充といったことにも力を入れております。

団塊の世代が75歳以上を迎える2025年を見据えて、高齢者の方々が病気になっても介護が必要になっても、住み慣れた地域で安心して生活してもらいたい。そのような取組みを地域の皆様と手を携えて進めてまいりたいと考えておりますので、市民の皆様におかれましては、今後ともご理解、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

アナ： ご紹介いただいた高齢者への支援の推進に関するお問い合わせ先を教えてください。

市長： 三島市高齢者バス等利用助成券については、
地域包括ケア推進課 高齢者福祉係 まで、
生活支援サポーター養成研修については、同じく
地域包括ケア推進課 地域包括支援係 まで、お願いいたします。

アナ： 豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長： ありがとうございました。